

- 閉会挨拶

< 中国地方整備局長 >

- ・ 昨年 8 月 2 日にチームを立ち上げて短期間でここまでこられたのも、福田本部長、戸田部会長はじめ各委員の皆様のご努力の賜と感謝申し上げます。
- ・ この国際物流戦略チームは北海道から沖縄に至るまで各地で検討されており、進捗状況も様々ではあるが、中国地方国際物流戦略チームの検討経緯あるいは緊急提言の特徴は、9カ所の利用者懇談会のべ 100 社近くにわたる企業のニーズをしっかりと聞いて、検討に活かしたことが挙げられる。企業のニーズを聞いている段階で当初はコンテナ貨物を中心に検討していたわけであるが、中国地方の特色である基礎素材産業を中心とした産業集積があるということでバルク貨物を全面に押し出した検討を行った。
- ・ バルク貨物を全面に押し出したというのは、中国地方だけだと思います。その点で我々の検討が日本全体で注目を浴びており、今後の動きも注目されていくだろうと考えています。
- ・ 緊急提言をまとめるのも重要であるが、これを実現していくことがさらに重要と考えている。政府全体でも来年度の予算編成に向けて骨太の方針の検討が現在進められており、民間 4 議員は公共投資については 3%以上の削減が必要と主張している。それに対して、国土交通大臣からは、諸外国の港湾・空港・高速道路の整備の現状並びにこれからの政府の計画を示し、国際競争力を強化していくには、今後も少なからず公共投資は避けられない、必要な投資を増やしていくことを述べている。
- ・ 経済産業大臣からは国際競争力に向けた基盤整備の必要性を述べている。その中で広島県塩崎空港港湾部長の意見にあった広島空港における貨物のキャパシティ拡大が挙げられている。
- ・ 緊急提言実現していくには、皆様方のご協力と強い運動が必要となります。役所は当然だが、マスコミをはじめ、民間・経済界の方々もこの提言を強く訴えて頂き、是非実現したいと考えています。この戦略チームは今後も続きますので、引き続きご指導、ご協力頂くことをお願いして最後の挨拶といたします。